

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

透析患者における心デバイス植え込みが感染症の危険因子となり得るか

2. 研究の対象患者

1996年4月から2016年2月の期間に、当院で透析を施行した患者さん

3. 研究の対象期間

1996年4月1日～2018年2月28日

4. 研究の概要

透析の導入の高齢化は年々進んでいる。透析患者が心血管系疾患を合併している患者が多く、不整脈関連死も多いと報告されている。ゆえに、透析患者において、心デバイスを挿入しなければならない患者、および心デバイスが植え込まれている方に透析を導入しなければならない患者に遭遇することは少なくない。そこで、本研究では、透析患者のうち、心デバイス挿入群と心デバイスを植え込まないコントロール群に分け、全身感染症の有無をエンドポイントとし、比較検討を行った。

5. 研究実施予定期間

2018年3月21日～2020年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：研究対象者背景：患者識別コード、生年月日、年齢、性別、身長、体重、透析導入日、最終観察日・観察項目、入退院日、糖尿病の既往、心臓外科手術の既往、感染症の発生

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者：循環器内科 笠井 裕平
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)